

2023年10月24日

報道関係者各位

積水樹脂、名古屋市の新たな路面公共交通システム「SRT」の 導入に向けた社会実験に参画 ～スムーズな乗降空間と回遊拠点の拠出～

積水樹脂株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 兼 CEO 馬場浩志、以下「当社」）は、愛知県名古屋市が進めている新たな路面公共交通システム SRT（Smart Roadway Transit）の導入に向けた社会実験に参画します。

本実験では、2023年9月16日（土）～11月30日（木）に、名古屋市広小路通のバス停2カ所（納屋橋・広小路本町）を「なごまちテラス」として暫定的に整備し、バスの乗降のしやすさ、まちの回遊拠点としての機能、一般交通への影響の検証を行います。



【SRT 導入に向けた社会実験のポイント】

名古屋市は、2026年開催のアジア大会や2027年度に予定しているリニア中央新幹線開業に向けて、都心部の回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、まちづくりと一体となった新たな路面公共交通システム SRT の導入を検討しています。SRT は、名古屋駅・栄・名古屋城・大須など、都心部の魅力ある地域をつないで人々の回遊性を高め、面として賑わいを拡大する新たな都市のシステムです。先進的な技術による快適な乗り心地やスムーズな乗降、洗練されたデザイン等のスマート（Smart）さを備え、路面（Roadway）を走ることでもちの回遊性や賑わいを生み出す新しい移動手段（Transit）という特性を SRT（Smart Roadway Transit）の名称で表しています。

今回、2023年度の SRT 社会実験として、公共交通と歩行者を中心としたウォークラブルな（歩きやすい）空間と、バス利用者が乗り降りしやすい空間の形成を目指して、広小路通のバス停を「なごまちテラス」として暫定的に整備します。本実験は、中央復建コンサルタンツ株式会社（本社：大阪市東淀川区、代表取締役社長 兼 塚 卓也）が全体の企画提案と各種調査・検証を実施し、当社はこのテラス型部分の整備をオレンジウッドデッキやチェーン柵、縁石鉾の提供等で協力しています。

○期間：2023年9月16日（土）～11月30日（木）

○場所：納屋橋バス停2番のりば、広小路本町バス停7番のりば



【今後の展開】

名古屋市は、都心部のさらなる活性化と、誰もが快適に移動できる最先端モビリティ都市の実現に向けて、まちのシンボルとなるSRTの導入を進めています。今回の社会実験で得られる検証結果を踏まえて、SRTに関連する各種事業の早期実現を図っていきます。

当社は国内初の事例となる神戸市パークレットを始め、館林（群馬県館林市）、新潟（新潟県新潟市）と本件の名古屋（愛知県名古屋市）等と様々なニーズを具現化したパークレット実績を積み上げてまいりました。この経験を活かして、安心・安全な都市交通の実現に向けた製品群のご提案を行い、にぎわいと安全性が両立するまちづくりに貢献してまいります。

以上

<積水樹脂株式会社>

1954年の創業以来、複合技術を活かし安全・安心・環境保全に貢献するモノづくりによって、公共・民間の幅広い分野で事業を展開しています。<https://www.sekisuijushi.co.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ

積水樹脂株式会社 総務広報部 土井 sjc_info@sekisuijushi.co.jp

TEL : 06-6365-3204